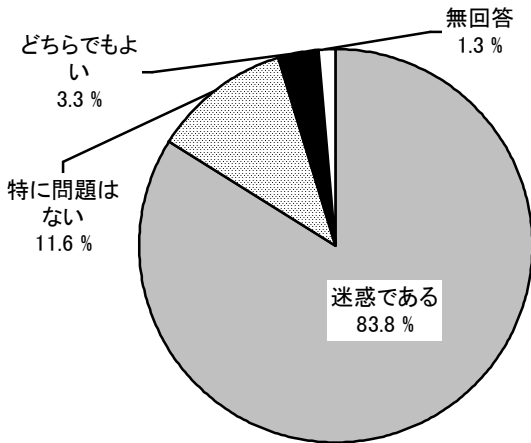


3. 路上喫煙について

3-1 路上喫煙の現状について

問4 道路など、野外の公共の場所での喫煙(路上喫煙)の現状について、どのように思われますか。
(○は1つ)

図 3-1 (路上喫煙の現状について) 【n=1,863】



路上喫煙の現状について、「迷惑である」が83.8%と8割を超えており、「特に問題はない」は11.6%と約1割となっている。(図 3-1)

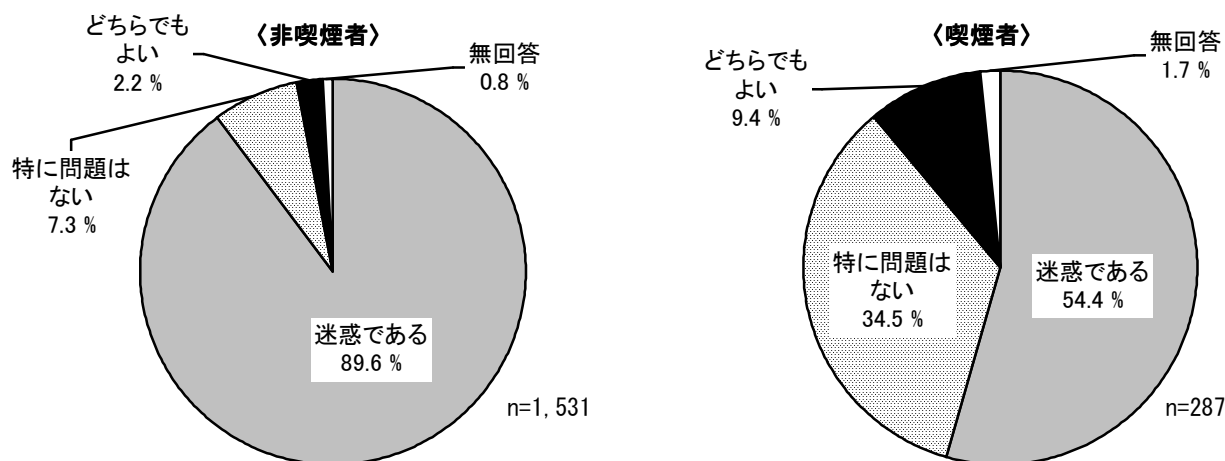
図 3-1-1 (性・年齢別 路上喫煙の現状について)



性別にみると、「迷惑である」が男性は77.3%であるのに対し、女性は88.9%と約9割となっており、逆に「特に問題はない」と答えた方は男性が16.7%、女性が7.6%となっており、男性の約2割は問題ないと考えている。

年齢別にみると、「迷惑である」割合が最も高い年代は、30~39歳と40~49歳で86.5%となっており、逆に最も低い年代は50~59歳の81.2%となっている。「特に問題ない」割合が最も高い年代は、20~29歳で13.7%となっており、逆に最も低い年代は70歳以上で10.3%となっている。(図 3-1-1)

図 3-1-2 (喫煙状況別 路上喫煙の現状について)



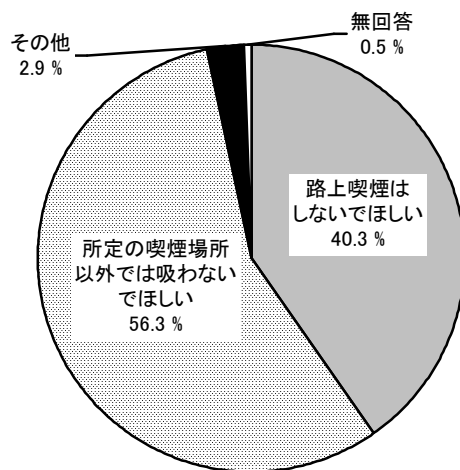
問7で質問している喫煙状況別にみると、「喫煙していない」と「以前は喫煙していたが、現在は喫煙していない」を合わせた非喫煙者が89.6%と約9割が「迷惑である」と答えている。一方、「喫煙しているが、やめたいと思っている」と「喫煙しており、やめるつもりはない」を合わせた喫煙者は54.4%と半数以上の方が「迷惑である」と答えているが、「特に問題はない」と考えている人も34.5%となっている。(図3-1-2)

3-2 喫煙に対する思い(路上喫煙に対して迷惑と考えている方)

問4で「1. 迷惑である」と答えられた方にお尋ねします。

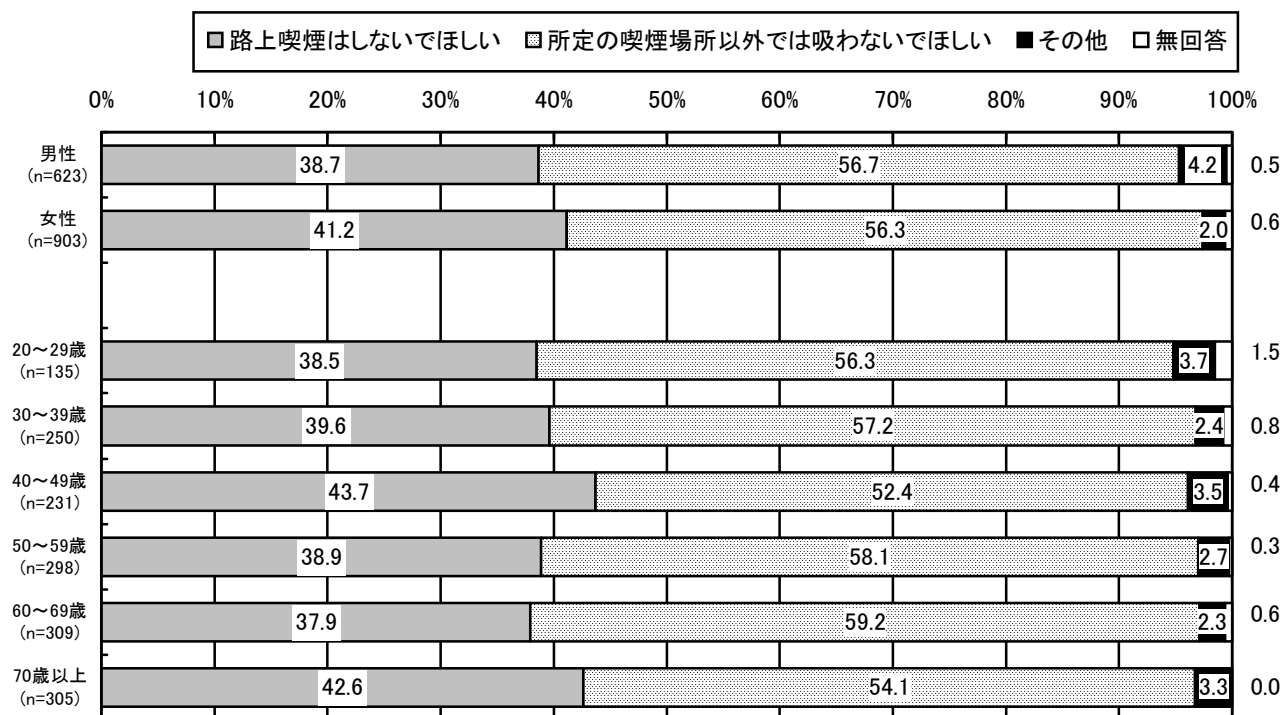
問4-1 喫煙者に対して、どのように思われますか。(〇は1つ)

図 3-2 (喫煙に対する思い(路上喫煙に対して迷惑と考えている方))【n=1,562】



路上喫煙に対して迷惑であると考えている方の中で、「所定の喫煙場所以外では吸わないでほしい」と考えている人は56.3%で最も多く、次いで「路上喫煙はしないでほしい(40.3%)」の順となっている。(図3-2)

図 3-2-1 (性・年齢別 喫煙に対する思い (路上喫煙に対して迷惑と考えている方))

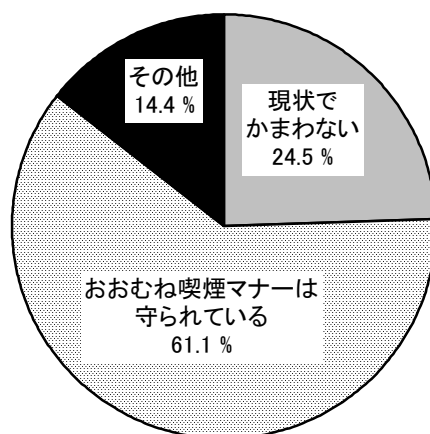


路上喫煙に対して迷惑であると考えている人のなかにおいて、性別による大きな違いは見られない。年齢別にみると、「路上喫煙はしないでほしい」割合が最も高い年代は、40~49歳で43.7%となっており、逆に最も低い年代は60~69歳の37.9%となっている。「所定の喫煙場所以外では吸わないでほしい」割合が最も高い年代は、60~69歳で59.2%となっており、逆に最も低い年代は40~49歳で52.4%となっている。(図 3-2-1)

3-3 喫煙に対する思い(路上喫煙に対して特に問題ないと考えている方)

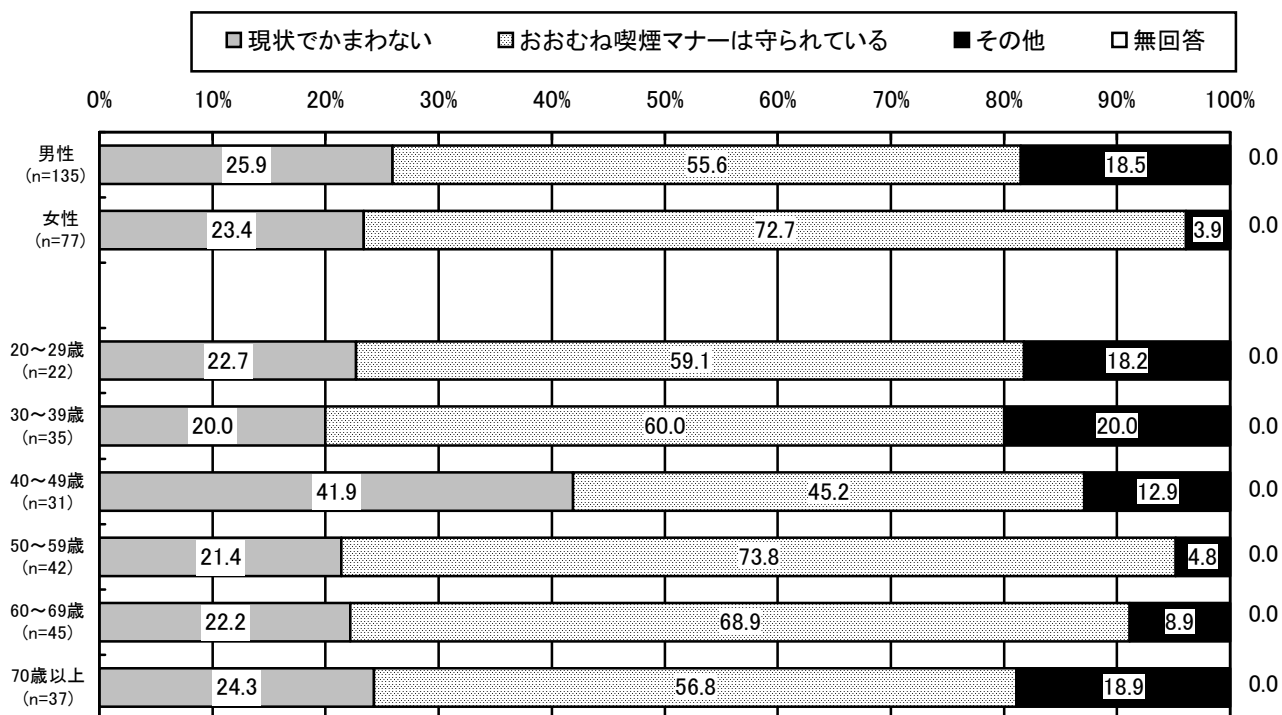
問4で「2. 特に問題はない」と答えられた方にお尋ねします。
問4-2 喫煙者に対して、どのように思われますか。(○は1つ)

図 3-3 (喫煙に対する思い (路上喫煙に対して特に問題ないと考えている方)) 【n=216】



路上喫煙に対して特に問題はないと考えている方の中で、「おおむね喫煙マナーは守られている」と考えている人は61.1%で最も多く、次いで「現状でかまわない(24.5%)」の順となっている。(図 3-3)

図 3-3-1 (性・年齢別 喫煙に対する思い (路上喫煙に対して特に問題ないと考えている方))



性別にみると、「おおむね喫煙マナーは守られている」が男性は 55.6%であるのに対し、女性は 72.7%となっており、路上喫煙に対して特に問題ないと考えている女性の約 7 割はおおむね喫煙マナーは守られていると考えている。

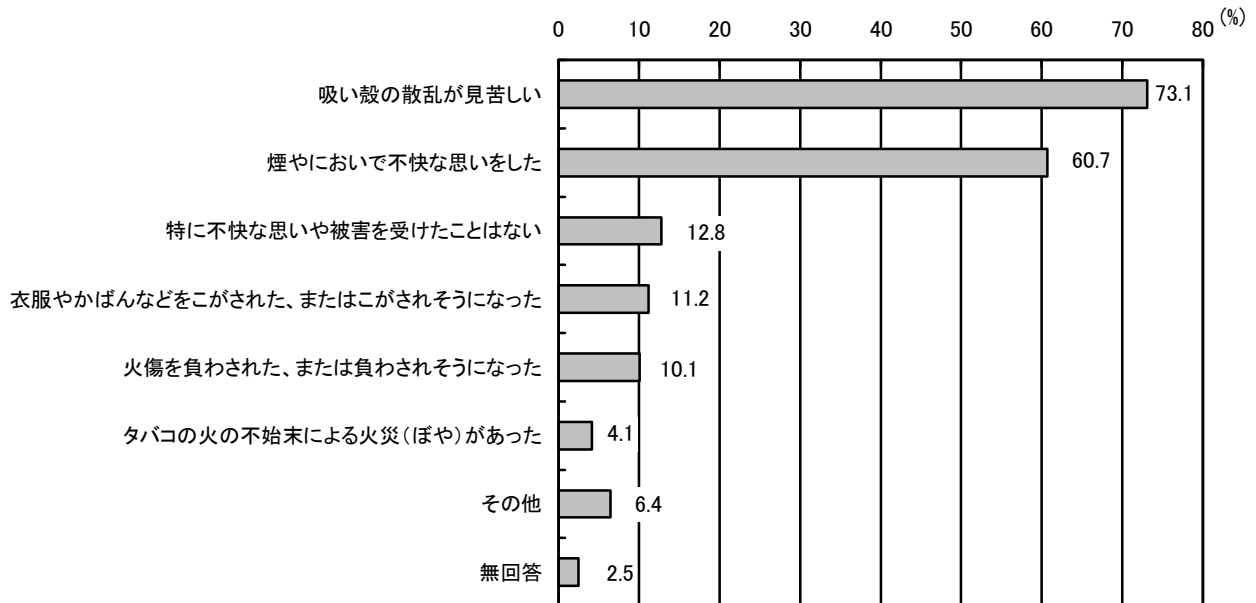
年齢別にみると、「現状でかまわない」割合が最も高い年代は、40~49歳で 41.9%となっており、逆に最も低い年代は 30~39歳の 20.0%となっている。「おおむね喫煙マナーは守られている」割合が最も高い年代は、50~59歳で 73.8%となっており、逆に最も低い年代は 40~49歳で 45.2%となっている。(図 3-3-1)

3-4 路上喫煙による被害などの経験

全ての方にお尋ねします。

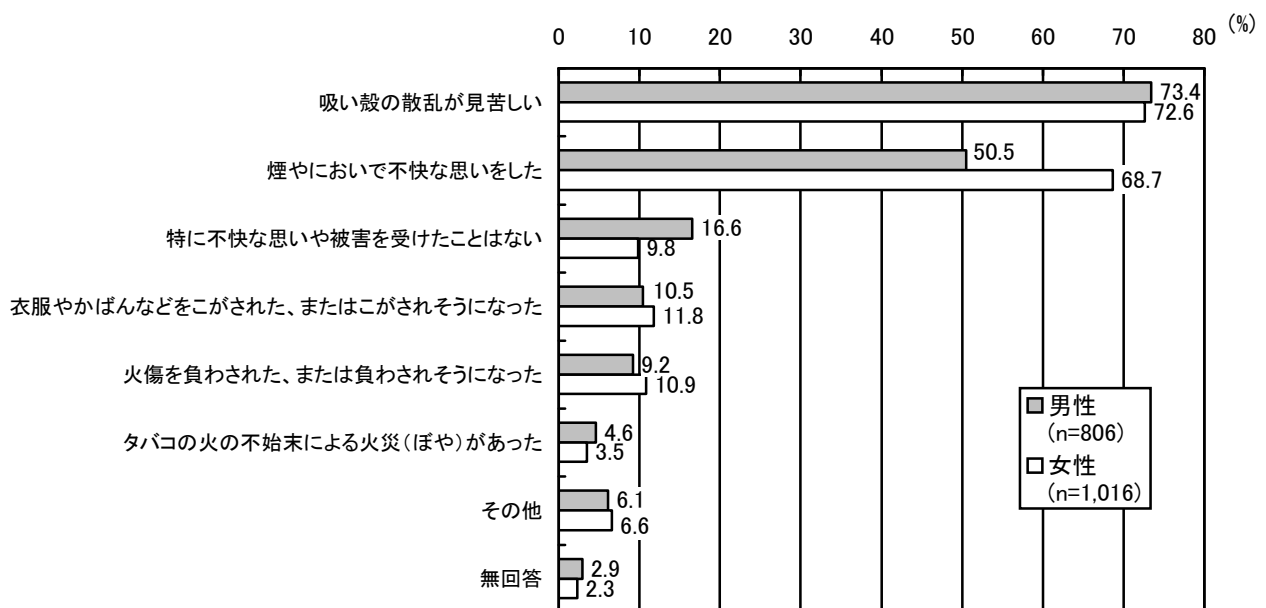
問5 道路など、野外の公共の場所での喫煙(路上喫煙)により、不快な思いをしたことや被害を受けたことや受けそうになったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図 3-4 (路上喫煙による被害などの経験 複数回答) 【n=1,863】



路上喫煙により、不快な思いや被害を受けた(受けそうになった)ことがある中で最も多いのは、「吸い殻の散乱が見苦しい」で73.1%、次いで「煙やにおいて不快な思いをした(60.7%)」で、この2つが大きく占めている。以下「特に不快な思いや被害を受けたことはない(12.8%)」「衣服やかばんなどをこがされた、またはこがされそうになった(11.2%)」の順となっている。(図 3-4)

図 3-4-1 (性別 路上喫煙による被害などの経験 複数回答)

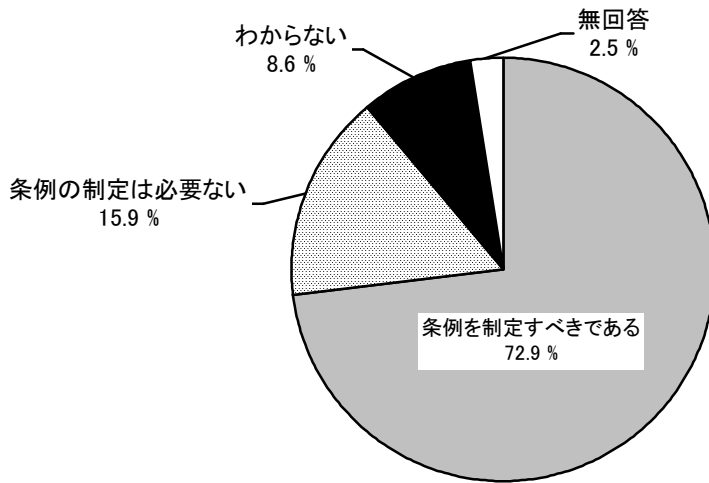


性別にみると、「煙やにおいて不快な思いをした」で男性が50.5%に対し、女性が68.7%と女性の方が不快な思いをしている割合が高くなっている。一方、「特に不快な思いや被害を受けたことはない」では、男性が16.6%に対し女性が9.8%となっている。その他の項目では性別間であまり差は見られない。(図 3-4-1)

3-5 路上喫煙防止条例について

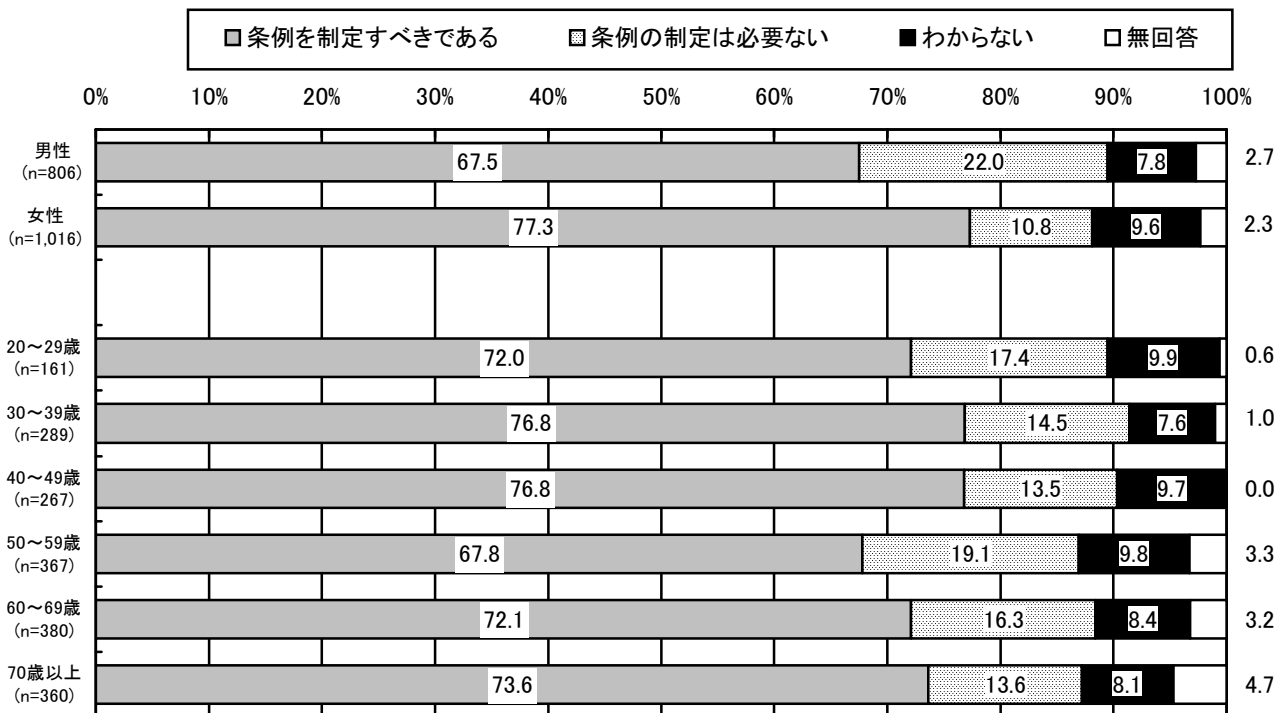
問6 路上喫煙防止条例についてどのように思われますか。(○は1つ)

図 3-5 (路上喫煙防止条例について)【n=1,863】



路上喫煙防止条例について、約7割(72.9%)の人が「条例を制定すべきである」と考えており、「条例の制定は必要ない」は15.9%となっている。(図 3-5)

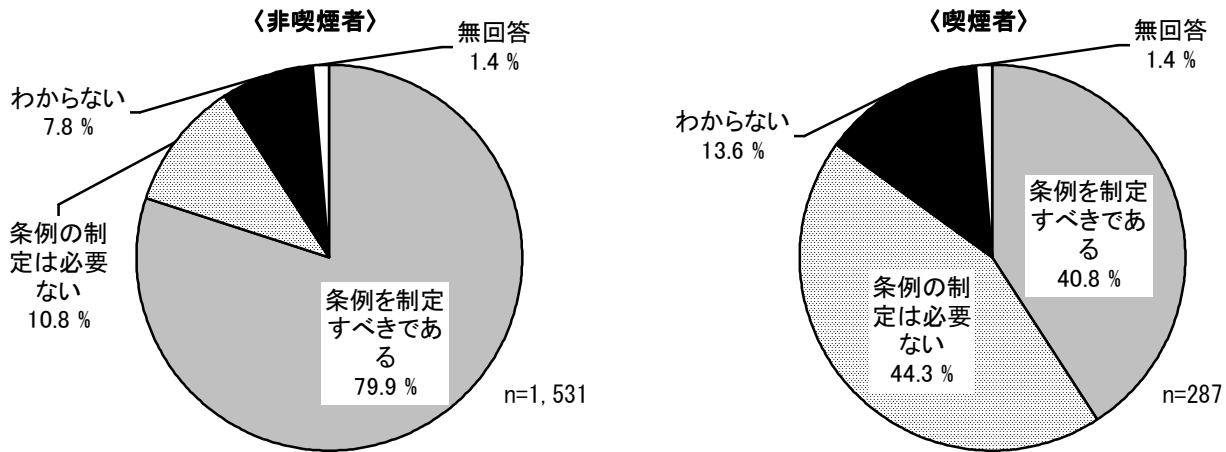
図 3-5-1 (性・年齢別 路上喫煙防止条例について)



性別にみると、「条例を制定すべきである」が男性は67.5%であるのに対し、女性は77.3%となっており、女性の方が条例の制定を望む声が多い。

年齢別にみると、「条例を制定すべきである」割合が最も高い年代は、30~39歳と40~49歳で76.8%となっており、「条例の制定は必要ない」の割合が最も高い年代は、50~59歳で19.1%となっている。(図 3-5-1)

図 3-5-2 (喫煙状況別 路上喫煙防止条例について)

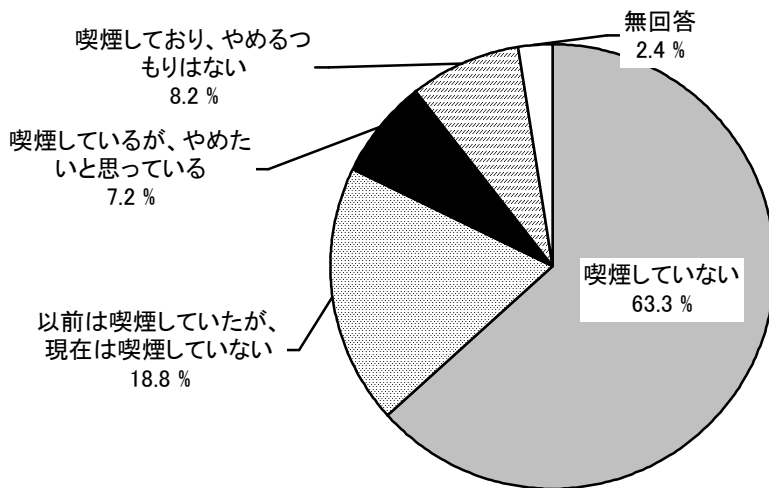


喫煙状況別にみると、「条例を制定すべきである」は非喫煙者で 79.9%と約 8 割であり、喫煙者は 40.8%と約 4 割の人が制定をすべきと答えている。しかし、喫煙者では、「条例の制定は必要ない」と答えている人の方が 44.3%と多くなっている。(図 3-5-2)

3-6 喫煙状況について

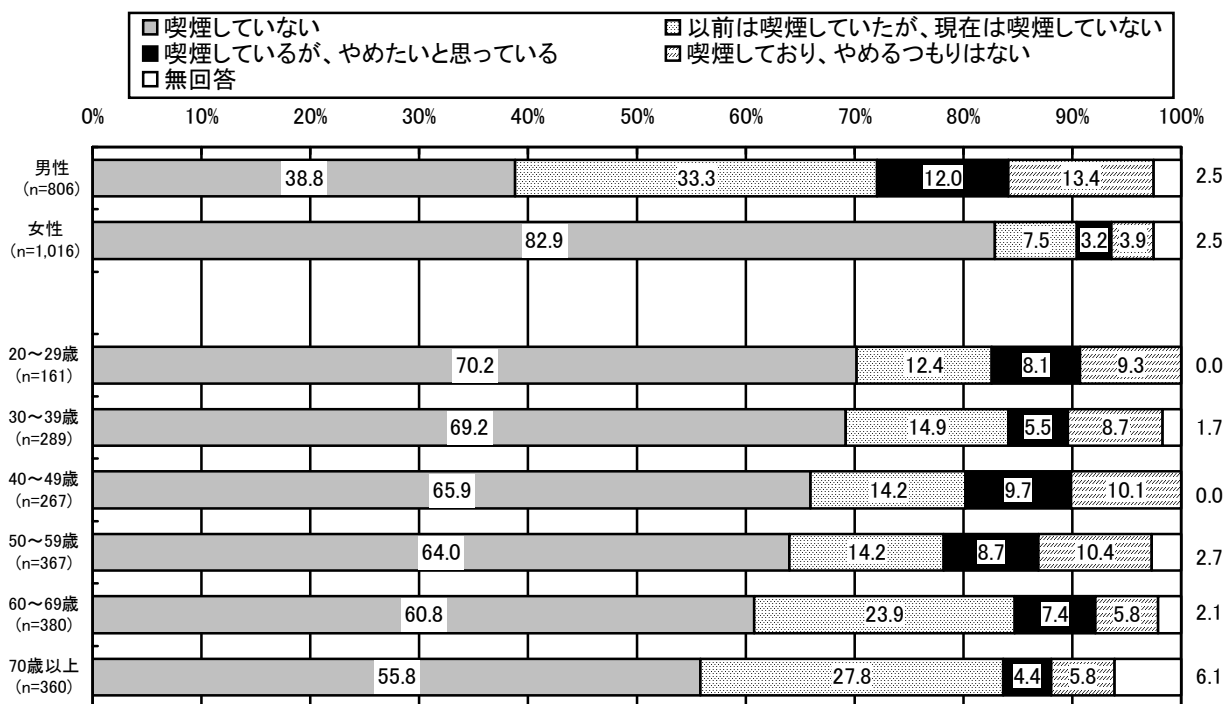
問7 あなたの喫煙状況をお尋ねします。(○は1つ)

図 3-6 (喫煙状況について) 【n=1,863】



「喫煙していない (63.3%)」と「以前は喫煙していたが、現在は喫煙していない (18.8%)」を合わせた現在喫煙していない人は 82.1%と 8 割を超えており、「喫煙しているが、やめたいと思っている (7.2%)」と「喫煙しており、やめるつもりはない (8.2%)」を合わせた喫煙者 (15.4%) を大きく上回っている。(図 3-6)

図 3-6-1 (性・年齢別 喫煙状況について)



性別にみると、「喫煙しているが、やめたいと思っている」と「喫煙しており、やめるつもりはない」を合わせた喫煙者は男性で 25.4% であり、女性の 7.1% を大きく上回っている。

年代別にみると、「以前は喫煙していたが、現在は喫煙していない」は、60 歳以上で 2 割を超えている。逆に「喫煙していない人」は、年齢が下がるにつれて高くなっており、20~29 歳では 70.2% となっている。また、「喫煙しているが、やめたいと思っている」と「喫煙しており、やめるつもりはない」を合わせた喫煙者の割合が最も高いのは 40~49 歳で 19.8% となっている。(図 3-6-1)